

《サン・チャイルド》の展示取り止めについて

今回のこむこむ館前での《サン・チャイルド》の設置にあたり、不快に思われた福島市民の皆様、応援して下さいました市民の皆様に、改めてお詫びを申し上げます。

大変残念ではありますが、こむこむ館前に置き続けることで、苦しむ市民の方々がおられるならば撤去し、展示を取り止めた方がよいという結論に至りました。また、これ以上、市内外の人々を巻き込み、対立が生まれることは避けたいと思いました。

《サン・チャイルド》は、震災後、福島に通う中で着想し、困難な状況下において、未来を見据えて力強く立ち上がる姿に、希望が持てるように制作した作品です。また、人類共通の大きな課題の解決に向けて、すべての人々を勇気付けたいと思いました。しかし、展示する場所、時期、方法などによって受け取られ方は変わりますので細心の注意を払うべきでした。

今回のことを真摯に受け止め、できる限り多くの市民の皆様と対話させていただき、一から精進したいと思っております。

2018年8月28日

ヤノベケンジ